

3月定例市議会市長記者会見

安心と希望のための挑戦予算～地域の創生に向けて～



2025年度（令和7年度）重点政策

「都市」と「人」が輝く未来の地域創生 ～3つの柱～

1 戦略的な地域の拠点づくり



魅力とにぎわいの創出に向け、地域の拠点づくりに取り組む。

2 こども・若者・高齢者が笑顔で暮らせる社会づくり



ネウボラセンターを核としたこども・若者支援と、人生100年時代の高齢者支援の充実に取り組む。

3 都市の発展を支える基盤づくり

都市の活力と市民生活の安心・安全を支える基盤づくりを着実に前進させる。

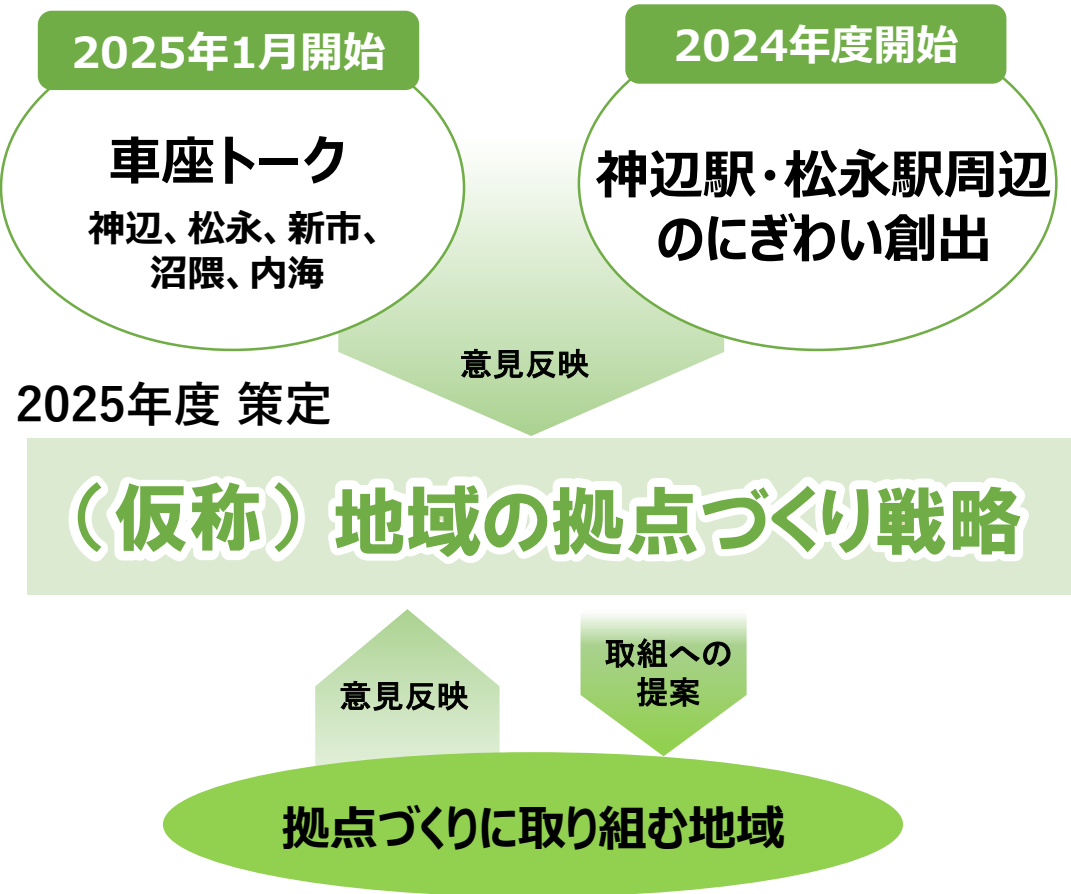


備後圏域の連携強化

デジタル化の推進

1 戦略的な地域の拠点づくり

(1) 戦略の策定



目玉
事業



(2) 候補となる事例

(歴史文化資源や自然、遊休財産などを活用して新たな価値を創造)

神辺地域

神辺駅周辺のにぎわい創出



- ・ 神辺駅西側の基盤整備
- ・ 湯田複合化施設の整備
- ・ 廉塾の保存整備

松永地域

松永駅周辺のにぎわい創出



- ・ 松永駅北口の再生
- ・ 民間活力による旧東村小学校の利活用

北部地域



- ・ 吉備津神社本殿の国宝化に向けた取組
- ・ かわまち広場の整備に向けた検討
- ・ 駅家公園の活用に向けた検討
- ・ 砂留の国の文化財登録制度への登録に向けた調査
- ・ 民間活力による山野小学校跡地の利活用

南部地域



- ・道の駅アリストぬまくまの再整備
- ・靱の浦しおまち海道サイクリングロードの利用促進
- ・靱地区東西交通・交流拠点の整備
- ・仙酔島の魅力創出
- ・海洋環境の改善
- ・沼名前神社能舞台の国宝化に向けた取組
- ・民間活力による旧内海中学校の利活用

陸の道
構想の推進

海の道
構想の推進

全域

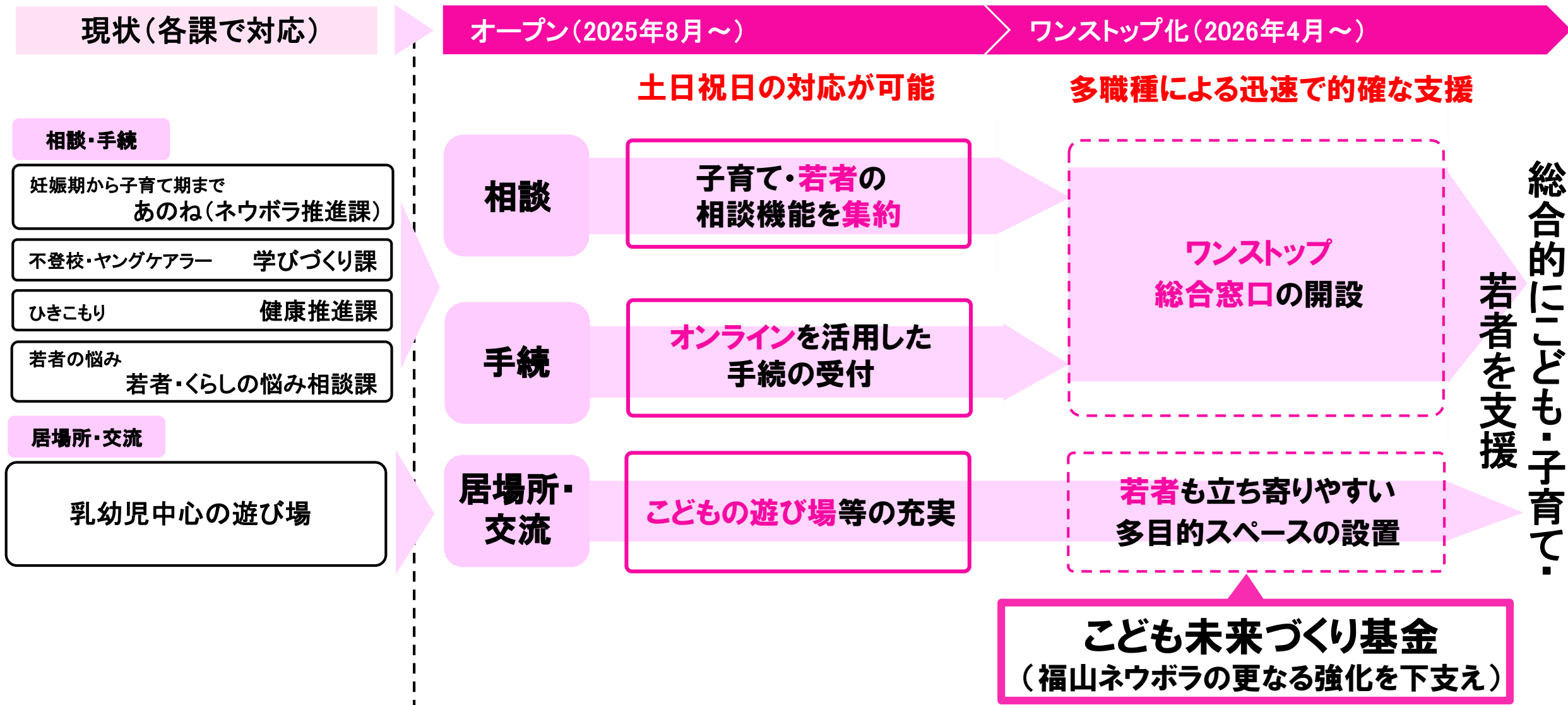


- ・福山市の文化財登録制度の創設
- ・地域が主体となった魅力ある公園づくり

2 こども・若者・高齢者が笑顔で暮らせる社会づくり

(1) ネウボラセンターの開設(こども・若者の相談・手続ワンストップ化に向けて)

目玉事業



(2) 子育て支援の充実

- ・ こども未来づくり100人委員会提案事業の推進
- ・ 交流館へ屋内キッズスペースを試行的に設置
(こども未来づくり基金を活用)
- ・ 医療的ケア児への支援
 - 看護師同乗による通学支援の強化



(3) 確かな学力を育む学校教育の推進

“学力向上プロジェクト”始動

目玉
事業

現状把握

- 学力定着状況調査の実施

調査結果を分析

対策

- 問題データベースを活用した学習支援

確かな学力と豊かな人間性を備えた未来を担う人材を育成



(4) 若者の地元定着の促進

① 福山市立大学の学部新設

- ・ 情報工学部の新設に向けた取組
 - 新棟建設工事に着手
 - 学部設置認可申請

② グリーンな企業プラットフォームの振興(再掲)

③ 地元企業とのマッチング支援の充実

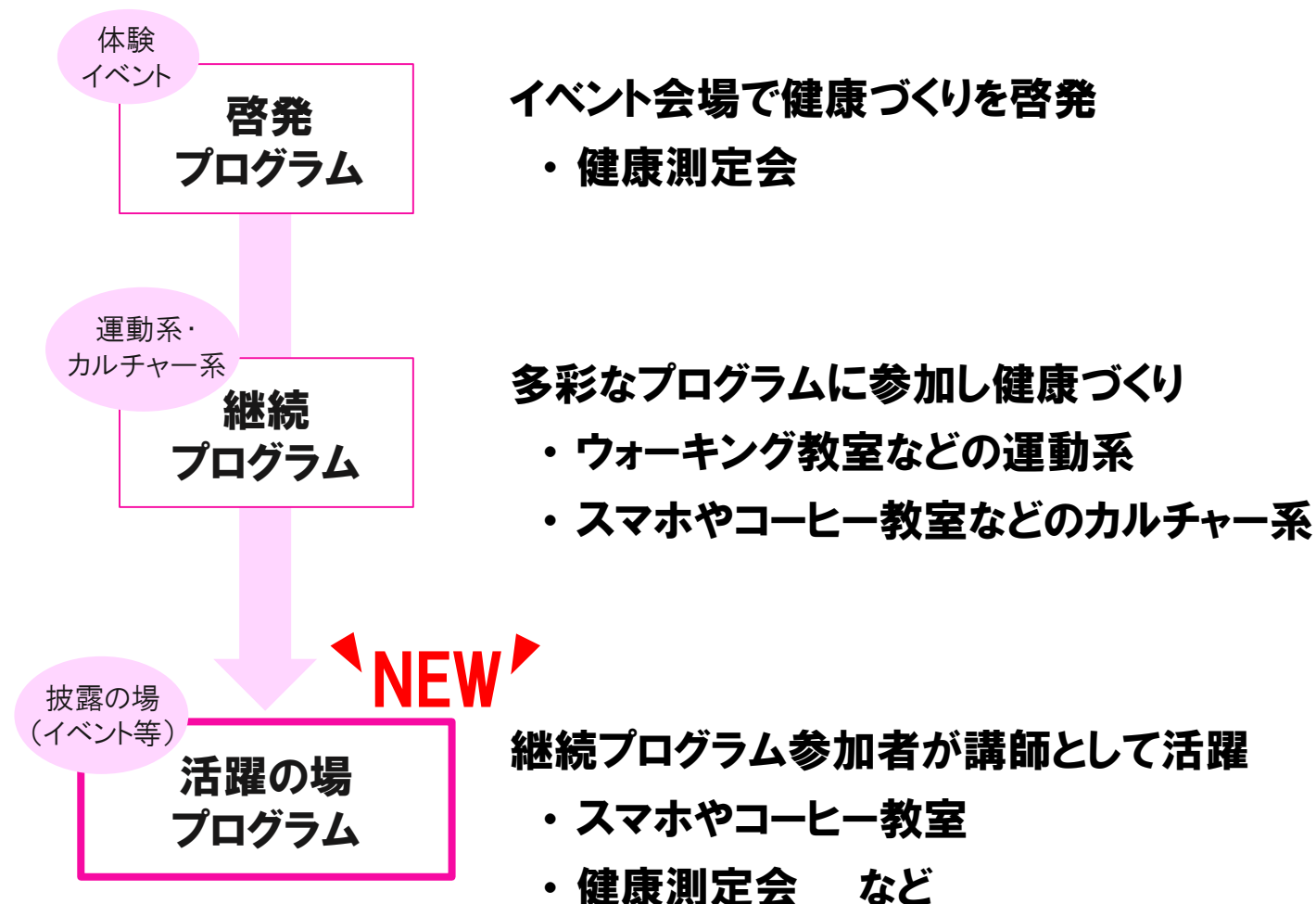
- ・ インターン等が受入れ可能な企業の情報発信の強化
- ・ 企業のインターンシップ受入れに要する経費の支援

2027年度
新設予定



(5) ふくやまSHINKAプロジェクト

(高齢者の社会参加を促進し、介護予防につなげる)



(6) 全世代交流型の新たなエリアの創造

目玉
事業

(エフピコアリーナ、かわまち広場、みらい創造ゾーン、
(仮称)まちづくり支援拠点施設、(仮称)子ども未来館)

- (仮称)子ども未来館の整備
(2029年度供用開始予定)
 - 大阪・関西万博パビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」
誘致の検討
- (仮称)まちづくり支援拠点施設の整備
(2026年度供用開始予定)

健康・スポーツ・レジャー・防災・交流・
教育・福祉の各機能を集積



クラゲ館外観イメージ(万博HPより)



エリア全体の将来イメージ
((仮称)子ども未来館や駐車場の配置等は検討中)

3 都市の発展を支える基盤づくり

(1) Rose Expo & 世界バラ会議福山大会の開催

目玉
事業

① Rose Expo実施運営

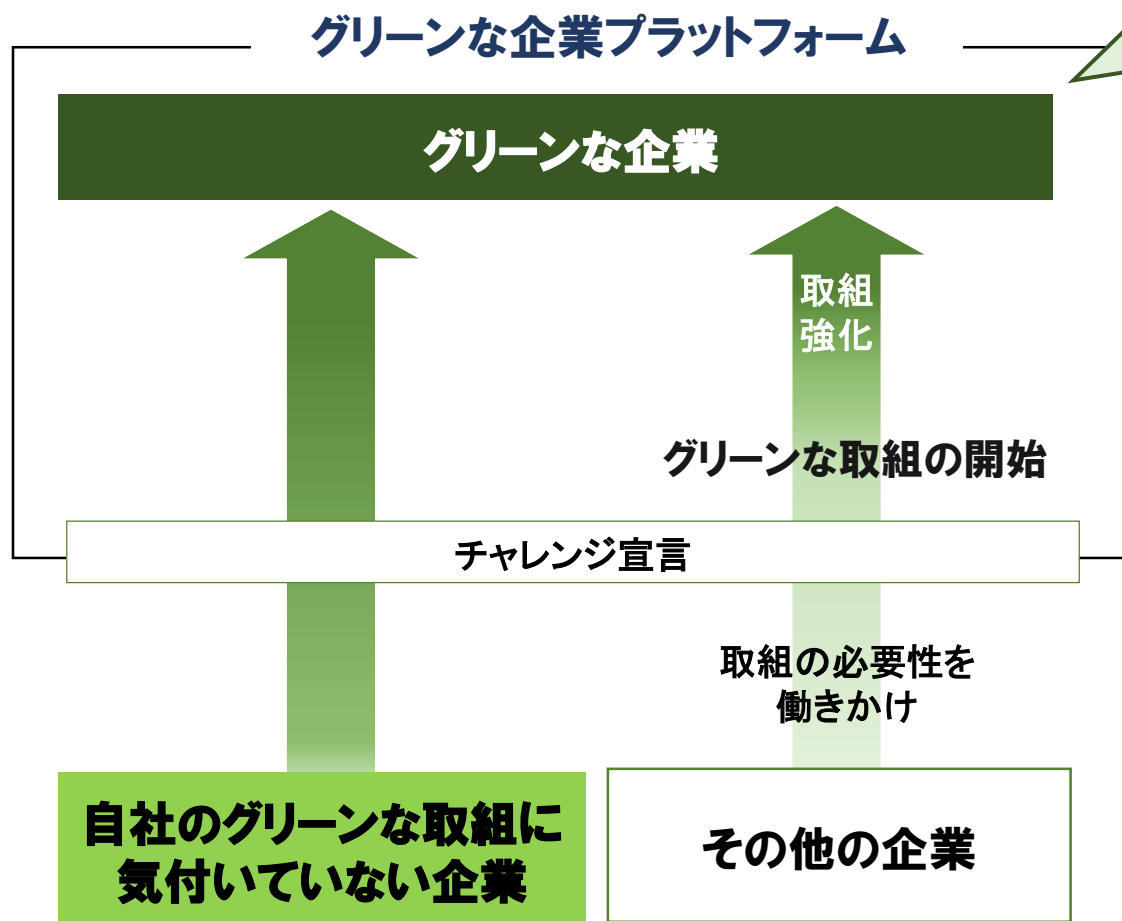


② 世界バラ会議福山大会実施運営



(2) 産業振興

① グリーンな企業の成長促進



グリーンな企業になると

ブランドイメージの向上
生産性向上による業績アップ
働きたい人の増加

- **グリーンな企業** に対する取組
 - 若者への情報発信
 - ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPO等での取組紹介
 - ITツール導入補助
- **自社のグリーンな取組に気付いていない企業** に対する取組
 - 企業情報の収集・企業分析
 - Fuku-Bizや福の耳プロジェクト等による掘り起こし

② 企業の事業拡大と誘致促進

- ・ エフピコRiMの利用フロア拡大に向けた検討（2025年夏頃、活用の方方向性を決定予定）
- ・ 新たな産業団地の検討に向けた概略調査
- ・ 地域未来投資促進法による重点促進区域内への産業用地の創出



③ 農林水産業の振興

- ・ 福山地方卸売市場の再整備支援（2028年度整備完了予定）



(3) 備後圏域の玄関口にふさわしい都市空間の形成

目玉
事業

① 福山駅周辺のにぎわい再生

・ 福山駅前広場再整備

”通過点”から”交流・新たなアイデアが生まれる場”へ

民間事業者による運営

- ・ マルシェ・屋外コンサートの開催
- ・ ナイトタイムエコノミーの推進 など

・ 福山駅周辺への駐輪場の整備

- 天満屋南側116台
(うち、62台は2月下旬から利用開始)
- 駅南北の思いやり駐輪場21台
(7月から利用開始)



② 全世代交流型の新たなエリアの創造(再掲)

福山駅周辺の機能とは異なる機能を持つ新エリアを創造し、
2つのエリアを結ぶことで多彩な機能を持つ都市空間が誕生

(福山駅周辺)

- ・ 風格ある景観と商業・交通機能が集積

(旧体育館跡地などの一帯)

- ・ 健康・スポーツ・レジャー・防災・交流・教育・福祉の機能が集積
- ・ 全世代交流型の新たなエリアと位置付け、
エリアビジョンを策定

- ・ 2つのエリアを自動運転移動サービスで直結

自動運転移動サービス
2027年度 レベル4実装予定



福山駅周辺



風格ある景観と
商業・交通機能が集積

全世代交流型の新たなエリア



健康・スポーツ・レジャー・防災・交流・教育・福祉の機能が集積

(4) 都市基盤・生活環境の整備

① 道路や港湾の整備・機能強化

- ・ 今津高西線の整備(概略設計)
- ・ 福山道路・福山沼隈道路等の整備促進
- ・ 期成同盟会の活動の強化
(福山道路の未事業化区間と神辺水呑線の新規事業化)
- ・ 福山港の機能強化
(2025年度 箕島地区岸壁暫定供用開始)

② 福山港内港地区の埋立てに向けた取組

- ・ 国、県との連携による事業スキームや役割分担等の整理
(2025年夏頃予定)

③ バス共創プラットフォームを通じた 公共交通の再構築

- ・ バス乗務員への就労支援金の支給
- ・ バス事業者の経営改善に向けた補助制度の創設
- ・ 新規路線の運行等の実証実験



(5) 災害に強い都市づくり

① 避難所等の環境整備

- ・ 学校体育館(24校)等の空調整備
- ・ 屋外用移動式冷却機や医療機器対応蓄電装置等の整備
(国の新たな交付金を活用)
- ・ 孤立可能性集落の支援体制の構築(衛星携帯電話等の配備)
(国の新たな交付金を活用)

② 地域防災力の強化

- ・ 消防団装備の充実(高性能防火衣)

③ 豪雨と地震への備え

- ・ 蔵王雨水幹線の整備(2025年度暫定貯留開始)
- ・ 蔵王ポンプ場の整備(2027年度整備完了予定)
- ・ ため池の耐震対策(熊野貯水池など)



備後圏域の連携強化とデジタル化の推進

① 備後圏域の連携強化

第3期びんご圏域ビジョン スタート
(2025年度～2029年度)

- ・ 企業の販路拡大と起業・創業支援
- ・ 広域観光の推進
- ・ 公立病院の連携強化
- ・ 保育サービスの充実 など



② デジタル化の推進

福山市デジタル戦略 スタート
(2025年度～2030年度)

- ・ 高齢者のデジタル技術の活用促進
- ・ デジタル化による子育て家庭の負担軽減 など



2025年度（令和7年度）当初予算

3つのポイント

一般会計当初予算 1,998億円

過去最大の予算規模（対前年度96億円増、5.1%増）
（※過去2番目は2022年度 1,968億円）

ポイント1

3つの柱へ注力

＜重点政策 約201億円＞（政策経費の約47%）
（※2024年度 約158億円（政策経費の約41%））
（全会計では約367億円）（※2024年度 全会計では約231億円）

○戦略的な地域の拠点づくり

約 25億円

・（仮称）地域の拠点づくり戦略の策定、拠点づくりの候補となる取組など

○こども・若者・高齢者が笑顔で暮らせる社会づくり

約106億円

・ネウボラセンターの開設、こども未来づくり基金の設置、民間活力を活用した介護予防（ふくやまSHINKAプロジェクト）など

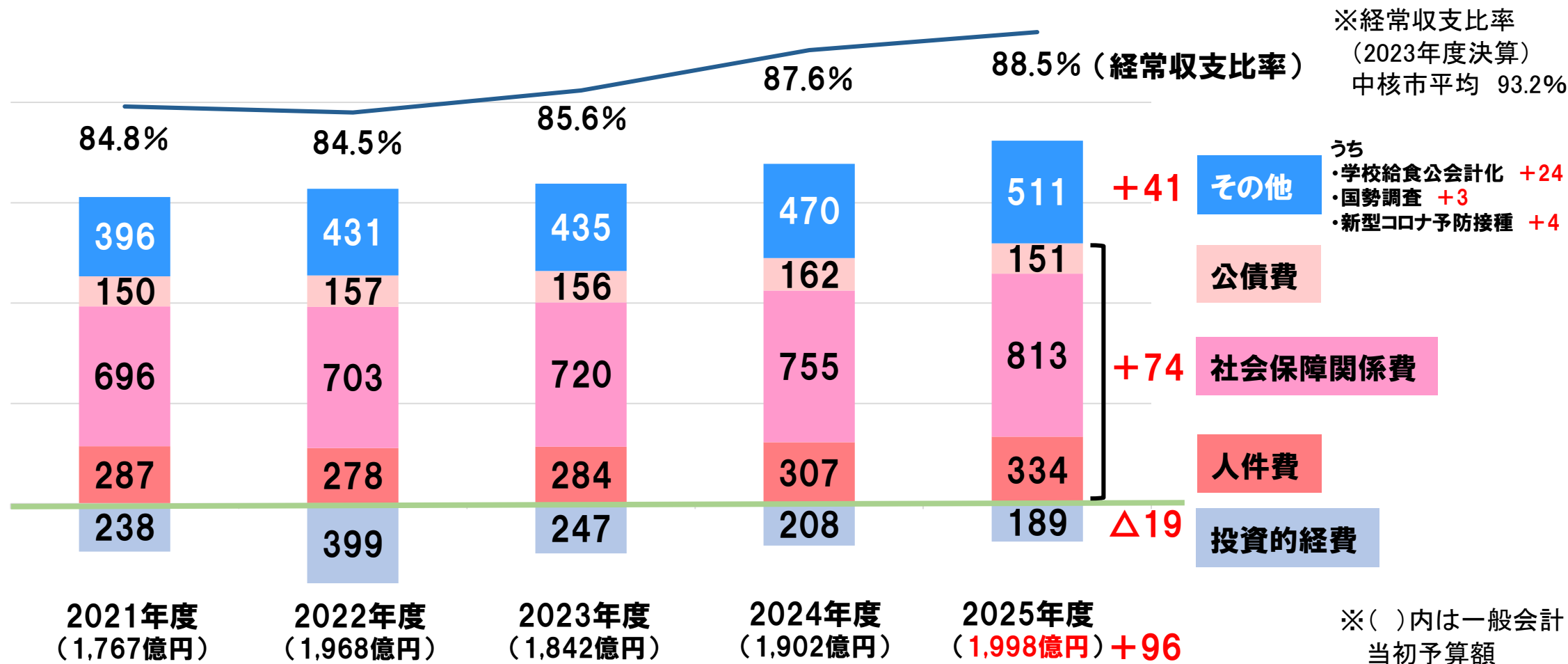
○都市の発展を支える基盤づくり

約 70億円

・Rose Expo & 世界バラ会議福山大会の開催、エフピコRiMの利用フロア拡大に向けた検討、今津高西線の整備など

(参考) 一般会計当初予算の推移

- 投資的経費は減少しているものの、義務的経費等（人件費、社会保障関係費、公債費）の増加や学校給食公会計化等の影響により、一般会計当初予算の規模は増加。
- 経常収支比率も上昇傾向にあるが、引き続き中核市平均を下回る80%台は維持。



ポイント②

新たな「総合的な財源確保」の取組をスタート

【新たな「総合的な財源確保」の取組(2025年度～2029年度)】

・2つの視点を追加

・5年間の目標額 **280億円**

2025年度の効果額 **約54億円**

視点1 デジタル化などによる行政の効率化 **約 8億円**

・生成AI、プロジェクト管理ツールの活用など

視点2 既存財産を活用した収入の拡大 **約18億円**

・遊休財産の処分、ネーミングライツ、クラウドファンディング型ふるさと納税など

視点3 民間活力の活用などによる公共サービスの再構築 **約23億円**

・水泳授業の民間プール活用、ごみ処理施設の集約など

(new) 視点4 備後圏域の連携による効率的な行政サービスの提供 **約 3億円**

・消防局訓練場整備、環境美化センターにおける塵芥広域処理など

(new) 視点5 行政の脱炭素化によるエネルギー消費の削減 **約 2億円**

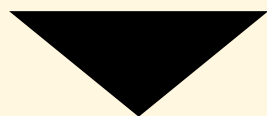
・公共施設の照明設備LED化、ペーパーレス化など

ポイント③

持続可能な財政の確保

〔将来負担の抑制〕

新たに減債基金を活用した
市債発行抑制の取組をスタート
(2025年度 **20億円**活用)



市債発行額は**約94億円**
(※2024年度 約126億円)
神辺町合併後(2006年度以降) **最小**

〔基金残高の確保〕

中核市平均を上回る水準を維持

	福山市	(中核市平均)
財政調整基金	190億円程度	(約113億円)
減債基金	110億円程度	(約 36億円)

※福山市は2025年度末見込

※3月補正で以下を実施予定

・財政調整基金 50億円程度の取り崩し減額(約90億円→約40億円)

※減債基金 30億円程度の積立(皆増)

※中核市平均は2023年度末時点

〔財政指標の状況〕

①フロー指標

実質公債費比率 **0.9%**

引き続き低水準を維持(2024年度 1.1%)

※実質公債費比率
(2023年度決算)

②ストック指標

将来負担比率 **比率なし** 2015年度から11年連続で比率なし

中核市平均 5.4%

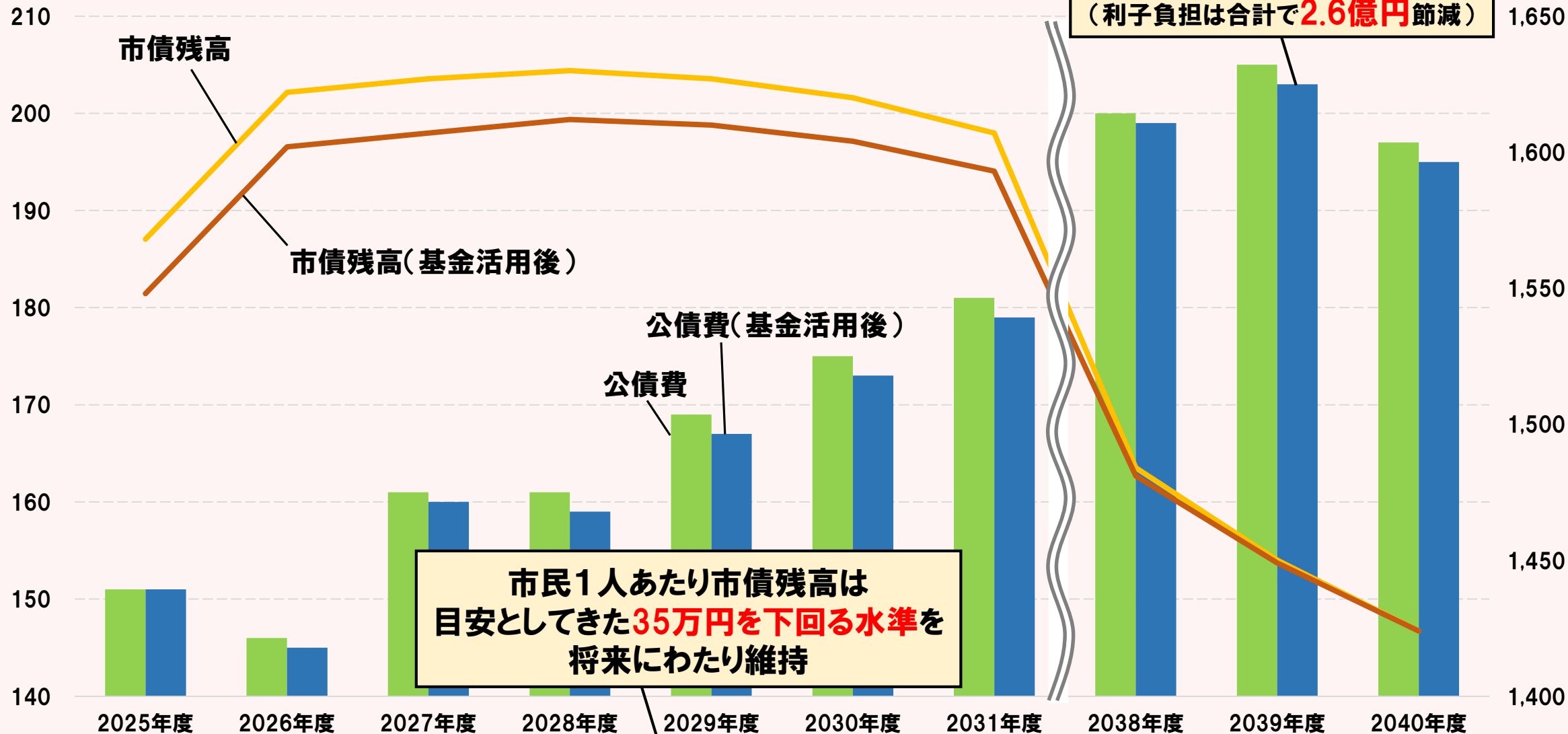
(参考)プライマリーバランス(※市債元金償還額－市債発行額) **2年連続で黒字化を達成**(※当初予算ベース)

公債費
(億円)

減債基金を活用した市債発行抑制の取組の後年度の効果

後年度の公債費負担を軽減
(利子負担は合計で**2.6億円**節減)

市債残高
(億円)



市民1人あたり市債残高は
目安としてきた**35万円**を下回る水準を
将来にわたり維持

2025年度 2026年度 2027年度 2028年度 2029年度 2030年度 2031年度 2038年度 2039年度 2040年度

34.5
34.0

34.9
34.5

35.1
34.6

35.2
34.8

35.2
34.8

35.1
34.7

34.9
34.6

市民1人あたり市債残高
市民1人あたり市債残高(基金活用後)

Road
to
2025

Vol. 14

Rose Expo FUKUYAMA 2025



イベントスケジュール

	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00
Day1 5月17日(土)	オープニング トークショー デザイナーズトーク	ブルーウェディング 音楽演奏 村雨辰剛 トークショー (出展企業PR)	トークショー (出展企業PR) デモンストレーション フラワー	音楽演奏 ブルーウェディング 小中高生の活動発表	ファッションショー ジャズ演奏	
Day2 5月18日(日)	小中高生の活動発表 (出展企業PR) 講演会	講演会 (出展企業PR) 三上真史 トークショー (出展企業PR)	講演会 小中高生の活動発表 パフォーマンス フラワー	講演会 ブルーウェディング 小中高生の活動発表	ファッションショー ジャズ演奏	
Day3 5月19日(月)	講演会 (出展企業PR)	木村卓功 トークショー 講演会 (出展企業PR)	トークショー 小中高生の活動発表 講演会	小中高生の活動発表 クローズ		<div><div>…公表済のもの</div><div>…今回公表するもの</div></div>

5/17
(土)
18:00~

Fukuyama Rose Runway produced by TGC

開催決定

- ✓ 国内最大級のファッションショー
東京ガールズコレクション(TGC)とのコラボ企画
- ✓ ばらで彩られたランウェイを
人気モデルがウォーキング
- ✓ 出演モデルは順次発表
- ✓ ローズエキスポの当日入場者は無料

TOKYO
GIRLS
COLLECTION
by girlswalker

トークショー・パフォーマンス

ステージ出演者続々決定！

5/17
(土)



10:30~
サヘル・ローズ(俳優)
トークショー



11:00~
辻井 ミカ(華道家)
曾我部 翔
(フラワーアーティスト)
大野 耕生
(ローズスタイリスト)
デザイナーズトーク



15:00~
ニコライ・バーグマン
(フラワーアーティスト)
デモンストレーション

5/18
(日)



15:00~
曾我部 翔
(フラワーアーティスト)
フラワーパフォーマンス

5/19
(月)



14:00~
松尾 祐樹(園芸家)
講演

Road
to
2025

Vol. 14

Rose Expo FUKUYAMA 2025

ローズマルシェ

5/17
(土)

5/18
(日)

5/19
(月)

- ばらの販売 計 **12** ブース
福山初出展のブランド多数！
国内外で人気のばら・最新品種のばらが一堂に！



デルバール(フランス)



ロサ オリエンティス (日本)



ローズ・ドゥ・メルスリー (日本)



- ばらや開催地の魅力を紹介 計 **45** ブース

- ✓ ばらのグルメやばらの新商品等の販売・展示
- ✓ 福山をはじめ備後圏域の特産品の販売・展示
(FUKUYAMA BRAND、備中備後ジャパンデニムプロジェクト)



3月定例市議会市長記者会見

福山駅前再生に向けたR i M再生の方針

2020年3月

○R i M再生の視点

- ① スピード再生
- ② 最小のコストによるにぎわいの創出
- ③ 福山の未来を育てる場

「新しい民間事業者のチャレンジの場」

④ 段階的な再生

「1階の活用状況を見極め、フロアの更なる活用を検討」

⑤ 市民の意見を聴き、議論が見える化

【参考】三之丸町周辺エリアビジョン（福山駅周辺デザイン計画）

2020年3月

・職住混在のスマートでクリエイティブなオフィス街



エフピコRiM外観



公開空地を活用したイベントの様子

2階、3階の活用に向けて

○ 1階の活用状況

	2022年10月～2023年3月	2023年10月～2024年3月	
・ イベント集客数	26,410人	61,248人	約2.3倍 ↗
・ イベント開催数	78回	219回	約2.8倍 ↗
・ レンタルスペース 利用者数	2,664人	4,057人	約1.5倍 ↗

⇒利用が増えている

・ オフィス（23区画） **すべて入居済み**

⇒新たに入居を望む声がある

2階、3階の活用の検討



イベントの様子



オフィス区画の様子

民間企業への意向確認

○企業の意見

- ・ 駅周辺に立地しており、アクセスが良い
- ・ 1階部分に若者を惹きつけている魅力がある
- ・ 大きなフロア面積は貴重

- 
- ・ 新たなビジネスチャンス
 - ・ 人材の確保 などを期待



コワーキングスペースの様子



イベントの様子

活用可能性の検討

- ・ 排煙設備、昇降機、受変電設備などの改修費を算出中
- ・ 国の交付金制度の活用を検討

- ↓
- ・ 改修費や不動産鑑定評価を踏まえた賃料を算出

- ↓
- ・ 過大な投資とならないよう、支出（改修費等）と収入（賃料等）とのバランスを考慮
 - ・ 1階と連携して、若者や女性が魅力を感じ、活躍できる場所にしていく

2025年(令和7年)8月までに活用の方向性を示す



2階の様子



3階の様子